

事務事業 No./名称	■サービス部門 教育-25 教育指導事業 □支援部門								
主管課	教育指導課	関連課							
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	学校教育運営を円滑に進めます								
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,224人	177,204人	177,161人					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯					
	事業の対象者数	11,391人	11,301人	11,144人					
運営資源状況	決算値(千円)	8,236	8,531	8,352					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	8,236	8,531	8,352					
	人員配置数	2.2	1.8	1.8					
	人件費(千円)	18,016	16,536	17,092					
	協働のパートナー								
事務事業運営経費	総事業費(千円)	26,252	25,067	25,444					
	市民1人当りの経費(円)	148	141	144					
	対象者1人当りの経費(円)	2,305	2,218	2,283					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒								
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)		
就学指導委員会開催日数	◎	目標値	5回	5回	5回	5回	5回		
		実績値	5回	5回	5回	5回			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
教育指導運営事業	8,236千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学支援委員会の開催</li> <li>・小中一貫教育検討委員会、教育課程編成の指針作成委員会の開催</li> <li>・肢体不自由学級児童生徒の送迎用バスの運行委託</li> <li>・各種会議・協議会への参加</li> </ul>				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談担当者の恒常的超過勤務</li> <li>・小中一貫教育の推進に必要な予算の確保</li> </ul>		
課題解決のための取組	指導主事を1名増員し、就学相談を2名体制にしたことにより、恒常的な超過勤務は解消された。小中一貫教育の推進にあたっては、推進校での実践研究に向け予算の確保を行った。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談、教育相談希望者が年々増加するとともに、相談内容が複雑化している。</li> <li>・推進校による実践研究の検討及び「鎌倉市教育課程編成の指針」の作成。</li> </ul>		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉関係機関等との連携・協力を図り、相談体制の充実を目指す。</li> <li>・小中一貫教育の推進においては、推進校による実践研究を参考に、「鎌倉市教育課程編成の指針」を完成させ、平成27年度から順次実施の際の参考資料とし、鎌倉市における小中一貫教育の確立を目指す。</li> </ul>	↓ A	課長等名
		③有効性 ○				教育指導課長
		④公平性 ○				川合良宏

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
教育指導運営事業	主な個別事業	131 就学支援委員会委員報酬	150	120	○	○	○	○
		131 肢体不自由学級送迎用バス運行業務委託料	7,509	7,215	○	○	○	○
		131 各種研究会・研修会・大会等負担金	409	397	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							